

2021年度ロータリー米山奨学金 学内応募概要（予告）

標記奨学金における2021年度の埼玉大学内募集は以下のとおり行われる予定です。下記内容を参照のうえ、希望者は今後の日程と必要書類を確認してください。応募期間は夏休み中となりますので、各自前もって準備し、期日までに提出できる様にしてください。2021年度申請書様式は募集開始時に開示されます。

財団名	ロータリー米山記念奨学会
応募資格	<p><u>以下の条件を全て満たす者</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本以外の国籍を有し、2021年4月時点で埼玉大学以下年次のいずれかに在籍する者（2020年10月または2021年4月修士課程入学の許可を得ている者を含む） <ul style="list-style-type: none"> ・学部3, 4年次生 ・大学院修士課程1, 2年次生 ・大学院博士課程2, 3年次生 2. 在留資格「留学」の私費留学生 ※応募時点で「留学」以外の場合も、奨学金受給決定後、「留学」に変更する条件で応募できます（2021年3月の合格発表後、「留学」へ変更する必要があります）。 3. 1976年4月1日以降に生まれた者（45歳未満の者） <p><u>以下の者は応募不可</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去にロータリー米山奨学金を受給していた者 ・ 博士の学位を既已取得している者。ただし既已取得している博士の学位と異なる研究をする場合は応募可。 ・ 2021年4月以降、他の団体からの奨学金を受給予定とする者（大学の授業料免除は含まれません。）
募集開示	<p>8月上旬 埼玉大学『国際交流』HPにて掲示 http://www.saitama-u.ac.jp/international/index.html</p>
応募期間 (予定)	<p>8月上旬募集開示時より以下の期日までの予定とします。応募資格のある者は、募集期間内に国際室まで書類を提出してください。</p> <p>【応募しめきり】2020年9月29日(火)11:00まで <推薦人数> 30名程度（募集開示時に正式人数を発表します）</p>
選考基準	<p>【学内選考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成績/履修状況、経済状況、申請書の内容など ・ 日本語能力※ 英語による学位取得プログラムに在籍する学生は、zoom等により日本語の事前面接を行います。 <p>【財団選考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロータリー活動に関心があり、地区行事、例会に積極的に参加し、ロータリアンと交流が図れる者（月1回以上の例会出席必須。その他親睦行事や奉仕活動などの地区行事への積極的な参加が求められます。） ・ 日本語日常会話に問題がなくコミュニケーションが図れる者（面接、合格後も全て日本語） <p>※ 日本語能力の基準について、自分が応募可能かどうか分からないという方は申請前にご相談ください。 zoomにて留学生相談室の中本先生と面接し、アドバイスを頂くこともできます。</p>

<p>応募時 必要書類 (参考)</p>	<p>所定様式書類は募集開示後、国際交流HPにてダウンロードできます。</p> <p>① 申込書/経歴書(所定様式)</p> <p>② 研究計画書(所定様式): 日本語で500字以上800字以内、本人の自筆 【テーマ】学部生:「現在の学習・履修状況と卒業語の進路」 大学院生:「大学院での研究予定または現在までの研究状況」</p> <p>③ 小論文(所定様式): 日本語で500字以上800字以内、本人の自筆 【テーマ】「なぜ留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」</p> <p>④ 成績証明書: 2020年度前期(8月25日開示)を含む現課程のもの 10月入学者は提出可能な直近のもの。自国のものには英訳/和訳を添付すること。</p> <p>⑤ 学生証(現埼大生のみ)、および在留カード(両面)のコピー ※在留カードに記載の住所が現住所と同じであること。住所変更をしていない場合は、区役所にて住所変更の届け出をしてください。</p> <p>⑥ 合格通知書: 2020年10月入学生および2021年4月入学予定者のみ (現在埼大に籍がある者は不要。ただし、入試日および結果発表日を申告すること。)</p> <p>⑦ 生活状況報告書(所定様式)</p>
<p>応募方法</p>	<p>応募書類全てを期日までに国際室に以下の要領で提出してください。本年度はメールのみの提出とし、以下の方法で受け付けます。</p> <p>1. 提出書類全てをスキャンし、PDF化したものを添付ファイルとし、メールにて国際室に送付して提出してください。ただし、申込書がExcelファイルのものはPDF化せずそのまま送付してください。 国際室メールアドレス ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp ※学生証、在留カードのみ、写真をjpgなどで添付することを可能とします。(本文に写真を直接貼り付けての送付は不可)</p> <p>2. 送付メール件名を「ロータリー奨学金 応募書類提出/申請者氏名」とし、本文に氏名、学籍番号を明記してください。なお、各国の入国/出国制限の関係で、申請時点で日本にいない場合は現状を記載してください。(1月の財団面接時に在日していない場合は、辞退して頂く可能性があります。) また、現埼大生で2020年10月または2021年4月入学の合格通知書を提出できない場合は、本文に入試予定日および結果発表日を明記してください。</p> <p>3. 書類不備、不足等あった場合はメールにて連絡があり、その時点では受付完了とはみなされません。不備、不足のものは至急再提出してください。 <u>応募期限までに全ての書類を提出完了していなければ受付完了とはなりません。</u> 応募期限ぎりぎりの提出は、不備により受け付けられない可能性があること承知し、早めの応募を心がけてください。</p> <p>4. 全ての書類が揃いましたら、受付完了のメールが届きます。 送付後3営業日(土日祝日、夏季一斉休業日/8月13日～8月19日を除く)以内に確認メールが届かない場合は国際室へお問い合わせください。</p> <p>5. 英語による学位取得プログラムに在籍する学生は、受付完了後、zoomによる日本語の面接を行います。受付完了のメールにzoomの案内を送付しますので、メールが届いてから24時間以内に国際室に返信し、日程の予約をしてください。事前面接を受けることができない場合は、選考対象外となります。</p> <p>6. 学内選考の結果は、メールにてお知らせします。</p> <p>7. 学内選考に通過した者は、結果発表より24時間以内に確認のメールを国際室まで送信し、次の手続きを進めてください。なお、返信のない者は辞退とみなされます。</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>国際室 (留学交流担当): ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp TEL: 048-858-3011</p>

ロータリー米山記念奨学会 学内応募 Q&A

2021 年度用

【ロータリーについて】

Q1:ロータリー財団ってどんな団体？

A :地域の人々の生活を改善したいという情熱をもって社会に役立つ活動に力を注いでいる人々の世界的ネットワークです。異なる職業の人々が地域でロータリークラブという会合を持ち、社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。

ロータリー財団(日本語) : <https://www.rotary.org/ja>

Rotary International (English): <https://www.rotary.org/en>

Q2:ロータリー米山記念奨学会って何？

A :1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学団体です。

ロータリー米山記念奨学会 : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary>

【応募資格について】

Q1:誰が応募できますか？

A :2021年4月の時点で学部3年・4年、博士前期課程1年・2年、博士後期課程2年・3年(博士後期1年は不可)に埼玉大学に在籍する私費留学生、または入学予定の者は、学部・国籍を問わず応募できます。ただし、申請時に埼玉大学に在籍していない者は、2020年10月または2021年4月入学の合格通知をもらっていないと応募できません。

埼玉大学の非正規生および学部4年生は、申請時まで合格通知をもらってなくても、2020年12月までに修士入学の結果が出る場合に限り、応募可能とします。入試予定日およびその結果発表日を申請時に申告してください。ただし、その後入試に合格できなかった時点でロータリーの応募資格も失いますので、ご了承ください。

Q2:非正規生は応募できないの？

A :研究生、STEPS 生、科目等履修生などの非正規生は応募できませんが、2020年10月または2021年4月に修士課程に入学予定の者は応募できます。

Q3:留年生も応募できますか？

A :できます。ただし、奨学生になっても「学業成績不良により留年したとき」には奨学金が打ち切られます。そのため、支給開始年に成績不良・単位不足により留年予定の学生の応募は望ましくありません。交換留学、徴兵など、特別な理由がある場合は、『経歴書』3ページ目に休学理由、留年理由を記入してください。*「休学・留年の理由」および「留年・復学した学年」の記載方法については国際室までご相談ください。

Q4:コロナの影響で日本に入国できていません。応募できますか？

A :埼玉大学在籍生に限り、申請時点で日本に入国できていなくても応募は可能です。申

請方法は同一です。ただし、財団面接(2021年1月9日)は日本で行われますので、その時までに入国できていない場合は、辞退をして頂くことになる可能性があることをご了承ください。なお、2020年10月または2021年4月新入学予定者は申請時に在日していなければ応募できません。

Q5:現在の在留資格が「留学」ではありません。「留学」でなければ応募できないの？

A :申請時に「留学」でなくても応募できますが、受給決定後、2021年3月25日までに「留学」に資格変更することが条件になります。なお、合格発表は2021年2月中旬ごろです。

Q6:学部生の時、ロータリーを受給していました。4月に修士に進学しますが、応募できますか？

A :いいえ。在籍する課程／学部が変わっても、過去にロータリー米山記念奨学金を受給していた者は応募できません。違う大学から埼大に入学する場合でも過去受給者は応募できません。

Q7:現在、他の奨学金を受給しています。応募できますか？

A :今受給している奨学金が2021年3月までのものなら応募できます。

Q8:他の奨学金にも応募していて、その結果を待っています。同時に応募できますか？

A :もしロータリー以外の奨学金を優先して受給希望の場合、ロータリーへの応募はなるべくさけてください。また、ロータリーの趣旨を十分理解した上で応募してください。なお、ロータリー合格後、他の奨学金受給を理由に辞退することは望ましくありません。

Q9:日本語は読み書きできますが、聞き取りが難しく、ちょっとしか話せません。応募できますか？

A :応募書類全て日本語を手書きで書く必要があり、財団面接も全て日本語で行われます。もちろん、ていねいに申請書を日本語で書けば応募できますが、2021年1月に行われる財団面接までに最低限の日本語による意思疎通ができるようにならなければ、むずかしいでしょう。

よって、英語による学位取得プログラムに在籍する学生は、学内選考前に、日本語の事前面接を行い選考材料といたします。また、学内選考に合格し、被推薦者となっても、財団面接までに十分な日本語能力が身につけていない場合、辞退をしていただくこともあります。日本語能力の基準について、自分が応募可能かどうか分からないという方は応募前にご相談ください。

Q10:どのような学生が合格できますか？

A :財団はロータリーの趣旨を理解し、共に活動してくれる学生を求めています。下の『奨学生としての義務について』にもありますが、進んで参加するのが難しいと思う場合は、活動のない他の奨学金に応募することをお勧めします。

【申請について】

Q1:指導教員の先生からの推薦状はいつまでに提出すればよいですか？

A :推薦状に関しては、学内選考に通過した学生にのみ、後日内容をお知らせします。申請時には推薦状の提出の必要はありません。

Q2:申請書はえんぴつで記入してもよいですか？

A :いいえ。応募書類は全て国際室より全員分まとめて財団WEB専用画面にアップロードして財団に提出します。薄いと写らない場合もありますので、必ず黒インクかボールペン(フリクション可)を使用してください。書き間違えた場合は修正テープ等を使用してきれいに記入してください。

Q3:申請時に日本を離れています。応募書類をどのように提出すれば良いですか？

A :コロナの影響やその他の理由により、今年度はメールでの申請とします。詳しくは『2021年度ロータリー米山奨学金 学内応募概要(予告)』の応募方法をご参照ください。

Q4:大学のすぐ近くに住んでいるので、応募書類を直接提出しても良いですか？

A :いいえ。今年度はメールでの申請のみとします。

Q5:学内選考はどういった基準で選考されますか？

A :学内選考では、申請者の成績、経済状況、作文の内容などを元に選考が行われます。財団の選考目安により、より多くの国籍や学部/学年の学生を推薦できるように全体のバランスを考慮し、選考する場合があります。また、『日本語日常会話に問題がなくコミュニケーションが図れる者』との選考基準に基づき、英語による学位取得プログラムに在籍する学生は、zoom 等により日本語の事前面接を行い、選考材料といたします。

Q6:学内選考の結果はいつ、どのように分かりますか？

A :10月1日(木)までにメールにてお知らせします。学内選考通過者は、メール送信より24時間以内に確認の返信をし、次の手続きを進めてください。なお、期日までに返信のない者は辞退とみなされます。

Q7:日本を離れていて、選考結果のメールが見られませんでした。日本に戻ってきてから確認の返信をしてもよいですか？

A :いいえ。必要な連絡に対して期日までに返信がない場合は辞退とみなされます。書類不備など、選考前からメールでのやりとりは頻繁に行われますので、海外でも受信可能なメールアドレスを用意し、一日に一回はメールを確認する様にしてください。

Q8:応募した学生全員が財団面接を受けるの？

A :学内選考に通過した被推薦者は、全員財団の面接を受けることとなります。財団面接は2021年1月9日(土)の予定となっています。

Q9:財団面接ではどういった内容を聞かれるの？

A :日本に留学を決めた理由、研究内容(大学院生)、申請書(小論文)に記載した内容、興味のあることやボランティア経験など、自分のことをたくさん聞かれます。また、必ずロータリー財団の活動やロータリー米山奨学会に関する内容を聞かれます。財団HPや、米山奨学生の先輩に活動内容を聞くなどして、財団の趣旨および活動内容をよく理解しておいてください。ボランティア経験が無い場合は、面接までにいくつかのボランティア活動に参加しておくのも良いでしょう。なお、被推薦者には、前年度合格者の面接報告書を参考としてお渡しますので、内容を確認し、準備をしてください。

Q10:面接の練習はできますか？

A :はい。希望者は、各自十分に準備をした後、留学生アドバイザー・中本教授により本番さながらの模擬面接を12月に受けることができます。詳しくは学内選考通過後にお知らせします。

【合格後、奨学生としての義務について】

Q1: 合格後、どのように奨学金を受給しますか？

A : 奨学生一人ひとりに、ロータリークラブの世話クラブがカウンセラーとして配属されます。奨学生は毎月の世話クラブ例会(平日の場合もある)に出席したときに奨学金を直接受け取ります。

Q2: 例会出席のほかに何を求められますか？

A : 月1回の例会出席のほか、2770地区の式典が年5回ほどあります。また、奉仕活動などの地区行事への参加や親睦行事などが求められ、多い月は毎週末行事がある月もあります。その他、年2回の「奨学生レポート(エッセイ)」の提出、スピーチの実施などがあります。

Q3: 修士/博士で実験や研究のため多くの時間が必要で、そんなにたくさん活動に参加できません。月1回の例会にさえ出席すれば大丈夫ですか？

A : この奨学金は、ロータリーの活動に積極的に参加することが最重要となります。進んで楽しく参加するのが難しいと思う場合は、活動のない他の奨学金に応募されることをお勧めします。



この奨学金は、全国のロータリー会員の寄付金によって支援される奨学金です。経済的に奨学金を受給するのみではなく、ロータリー会員と共に活動し、日本の文化や習慣、マナーを体験する場であることを十分に理解した上で応募してください。

応募に関する質問は国際室までお気軽にどうぞ。



埼玉大学 国際室
ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp
TEL: 048-858-3011

Rotary Yoneyama Memorial Foundation

公益財団法人 ローター米山記念奨学会

2020 学年度

ロータリー米山記念奨学生募集要項

日本の大学・大学院在籍者対象

公益財団法人 ローター米山記念奨学会は

日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として
勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し
奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学団体です。

ロータリーとは

地域の人々の生活を改善したいという情熱をもって社会に役立つ活動に力を注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワークです。異なる職業の人々が地域でロータリークラブという会合を持ち、職業を通して社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。1905 年アメリカ・シカゴで発足し、今では 200 以上の国と地域に広まり、クラブ数 35,930、会員数 1,224,128 名(2019 年 4 月 11 日 RI 公式発表)に成長しています。日本では 1920 年に、東京で初めてロータリークラブが設立されました。現在、日本ではクラブ数 2,261、会員数 88,912 名(2019 年 3 月末現在)に達しています。

I はじめに

1 目的

学 業
異文化理解
コミュニケーション能力

2 特長

SAMPLE

3 ロータリー米山記念奨学生の義務

1. 米山奨学生は、世話クラブであるロータリークラブの例会へ毎月1回以上出席します。
2. 年2回、奨学生レポートを当会に提出します。
3. 例会での卓話(スピーチ)を行い、世話クラブおよびロータリー地区の活動に積極的に参加するなど、ロータリアンとの交流を通して相互理解を深める努力をします。

4 奨学期間終了後も続くネットワーク(学友会活動)

